

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	難病患者支援事業				シート番号	011-218
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	保健所 保健医療	課 評価責任者(課長名) 藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	難病の患者に対する医療等に関する法律(難病法)			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成16年度、難病患者等見舞金制度廃止に伴って難病対策の施策全体の見直しを行い、事業の集中化を図るとともに拠点を整備し、事業を開始。23年度までは「堺市難病支援ネットワーク協議会」に委託。24年度以降は難病患者支援センターを設置し、「大阪府特定疾患研究会」に委託して運営していた。平成27年1月、難病法が施行され、新たな医療費助成制度の確立とともに、療養環境の整備が図られることになり、本市においても、保健師による難病患者の個別療養支援、及び難病患者支援センターにおける相談支援を実施。平成30年度からは、大阪府からの権限移譲に伴い、難病患者支援センター事業を「療養生活環境整備事業」に含めて再編し、本事業では引き続き難病患者の個別療養支援と保健師等専門職への教育・育成を重点的に行う。(「療養生活環境整備事業」のシート参照)				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	難病患者及び患者家族					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	難病患者とその家族が生活の質を向上し地域で安心して暮らすことを目的に、療養生活における不安や悩みを解消し自立を支援する。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<input type="checkbox"/> 個別療養支援 指定難病333疾病(令和元年7月現在)のうち、重症化する神経筋難病6疾病を本庁課で集中管理し、その他の疾病については各保健センター保健師による個別療養支援等を実施する。 <input type="checkbox"/> 難病支援連絡会 市内の医療・保健・福祉等の難病関係支援者間のネットワーク構築を図り、一層の連携を推進する。 <input type="checkbox"/> 研修会等 療養支援に携わる保健師等専門職の育成を目的に開催する。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
10	直接実施以外の主な支出先							

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	33,541	32,710	11,247	10,915	10,001	9,671	9,657	
主な事業費内訳	難病患者活動拠点事業	千円	22,327	22,327		0	0		
	専門職員報酬等	千円	6,864	6,903	6,974	7,001	6,864	6,918	7,226
	難病研修会・ALS交流会等関係事業	千円	509	340	551	1,316	470	214	408
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	3,764	3,662	1,412	3,500	1,412	2,189	1,412
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(寄附金)	千円		94					
一般財源	千円	29,777	28,954	9,835	7,415	8,589	7,482	8,245	
12 人件費 (b)	千円	26,350	26,350	18,970	18,970	19,210	18,805	16,350	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	59,891	59,060	30,217	29,885	29,211	28,476	26,007	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	難病患者支援事業	シート番号	011-218
-------	----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

		令和元年度実績					
活動実績と成果	14	<p>○難病療養支援に携わる保健師等専門職を対象とした研修会 【活動指標】研修会の実施回数(目標)3回 (実績)4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師基礎研修 6/19(6人) ・保健師専門研修 6/19(16人) ・関係機関研修会 5/23(14人) ・ミニ研修会 6/6(13人) <p>○個別療養支援について、保健師による個別療養支援等(面接・訪問)を延べ1,183回実施した。</p> <p>○難病支援連絡会 ・市内の医療・保健・福祉等の難病関係支援者(医師、訪問看護ステーション看護師、ケアマネジャー、障害者支援相談員等)間のネットワーク構築を図り、一層の連携を推進することを目標に1回実施した。</p>					
	15	個別療養支援件数(面接・訪問)	件	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			目標値	—	—	—	—
			実績値	1,173	1,330	1,183	—
			達成率	—	—	—	—
		評価	—	—	—	—	
		算出方法・設定根拠など	罹患している疾病や状況・状態によって面接時間や必要回数等が異なるため、目標値を設定することになじまない。				
	16	[指標名]	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			目標値				
			実績値				
		達成率					
	評価						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	個別療養支援件数(面接・訪問)	件数	1,173	1,330	1,183
	②	上記①にかかる年間経費	千円	9,753	9,821	9,703
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	8,315	7,384	8,202
	備考(算出についての説明等)		専門職報酬等の決算額のうち、指標名(面接・訪問)にかかる保健師の業務割合を、全体の業務の約70%として年間経費算出。			
18	①	[区分]	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
19	<p>・保健師を対象とした研修については、難病患者に寄り添った支援を行うため、「人工呼吸器の停電・災害時の備えについて」、「患者が利用できる各種サービスについて」の研修を充実拡充し研修参加者の高い満足度も得られている。</p> <p>・個別療養支援件数(面接・訪問)の件数が減少した要因としては、新型コロナウイルスの感染対策のため行った、訪問の自粛による影響が大きい。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	難病患者支援事業	シート番号	011-218
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ・保健師を対象とした研修について、 ①指定難病の疾病数が年々追加される ②患者数が急増しており、求められる支援内容も千差万別である これらに対応するためのスキルの更なる向上が保健師に求められている。 ・難病関係支援者間のネットワーク構築、保健師による個別療養支援については、難病患者が安心して生活する環境づくりに不可欠なものとなっている。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 保健師を対象とした研修のうち、新任保健師を対象とした同伴訪問や施設見学については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、延期している。市民生活に直接的な影響はないが、保健師の資質の向上には一定の影響はある 休止の場合の再開時期 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 保健師を対象とした研修のうち、新任保健師を対象とした同伴訪問や施設見学について、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、延期している
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 保健師を対象とした研修のうち、新任保健師を対象とした同伴訪問や施設見学について、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、延期している
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 保健師を対象とした研修のうち、新任保健師を対象とした同伴訪問や施設見学について、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、延期している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	個別療養支援や難病支援連絡会には、面談が不可欠であるため、新型コロナウイルス感染の拡大防止策を講じて適切に実施していく。	